

あ お や ま た だ し
青山正
さん
き ゆ う え ん か い
救援会ニュース 第61号
(2002.3.2)

東京都港区新橋 2 - 8 - 1 6 石田ビル4階

TEL03-3591-1301 FAX 03-3591-3583

E-mail:CZX00547@nifty.ne.jp

郵便振替 00120-0-357320 青山正さん救援会

青山さん、再審申請に踏み切る！

今年1月6日、大阪にて、関東・関西両救援会と和久田弁護士、および青山さんを交えて、弁護団会議が開かれました。法医学鑑定、供述分析、鞆の写真のコンピューター解析など種々の無実の新証拠について討論がなされた後、青山さんの意思を確認しよう、ということで、会議とは別室で和久田弁護士と青山さんが相談を開始しました。

種々の無実の証拠が出ているのですが、再審の壁の厚さに加え、裁判に否定的な思いしかない青山さんに「もう一度裁判をやる」ということに本当に踏み切ってもらうことは簡単ではありませんでした。救援会の側も、事実上青山さんの意思ではないような形での再審申請ではなく、青山さんが本当に自分の意思で再審申請を行ってくれるようにと願ってねばり強い話し合いを続

けてきましたので、これまでははっきりとした「再審申請」にまでは至らずにいました。

しかし、このときの青山さんと和久田弁護士との話し合いで、青山さんは、再審開始の意思を明らかにしました。それを会議に参加している人たちに伝えるとき、「マル！」と大きな声で、頭上に手で大きなを描いてみせたときの、その明るさは対照的に、その決断の重さを感じられました。

いよいよ再審申請は具体的な作業を進める段階になりました。各証拠を最終的に具体的にする作業が残されています。そして、各鑑定書には多額の費用がかかっていますが、いま再審基金はほぼ底をついています。これまで以上のカンパをお願いします。そして、何とか今年中ぐらいに、それができなくてもできるだけ早く、再審申請を開始したいと思っています。

これまで以上のご支援を、よろしくお願いいたします。

テレビ朝日「ザ・スクープ」で報道！

去る1月19日、テレビ朝日の「ザ・スクープ」に野田事件のことが取り上げられ、青山さんの無実と警察による証拠ねつ造を明らかにする報道がなされました。

この報道には救援会も種々の協力を行いました。マスメディアでの報道は、必ずしも救援会の意図を充分尊重してくれるものとは限らず、例えば青山さんに対して行われた裁判の差別性などを十分に明らかにするものではありませんでした。しかし、救援会では到底困難な、アメリカまで行っ

ての鑑定依頼や、高額な経費を費やしての有名な研究所への鑑定などの成果が出され、全体としては青山さんの無実をよりいっそう明らかにする内容となっています。青山さんもたっぴり出演しています。

見た方も多いと思います。ぜひ感想等を救援会にお寄せ下さい。また、見逃した方には、ビデオを実費でお送りします。救援会までご連絡下さい。テレビ朝日ザ・スクープのホームページでも内容をみることができます。

青山さん来京報告

毎年年末年始とお盆の時期に、関西で暮らす青山さんに東京に来てもらうことが恒例となっています。この年末年始にも青山さんが東京にやって来ましたので、そのことについてそれぞれ時間を一緒に過ごした人から報告してもらいます。

12月29日(土)青山さんは元気で東京駅に到着。新幹線での一人旅もすっかり慣れたようだ。途中で軽い昼食をとり、そのまま池袋のサンシャインシティ60にある国際水族館に直行。もしかしたら以前だけかこの水族館に来たことがあったかなと

思って青山さんに聞いてみたが、はじめてとの返事。サンシャインビルに近づくとテンテケテンと太鼓の音が聞こえる。青山さんが「どこかでお祭りをやっているな」というので、太鼓の音のほうへ歩いて行くと、猿回しをやっていた。竹馬や棒高跳びなどなかなか芸達者なお猿さんだった。終わってもまだ青山さんは見ていたそう。30分の休憩後にまた演技をやるというので2度目も見に行った。今度は青山さんは最前列に出て行って小さな子どもたちと並んで一番近くで見ている。同じ演技の繰り返しなので同じ人に見られていると猿回しのお兄さんもやりにくいかなと思うが、青山さんはさかんにお猿さんに声援を送ったり、拍手したりと熱心だ。「可愛いね」「上手だね」とほめている。帰り際、お兄さんに「お猿さんを可愛がってやってね」と声をかけていた。

水族館にはいろんな種類の魚がいる。カメラを持って来ればよかったなと残念そう。ラッコやマンボウなどどうも青山さんは知っているようだ。あとでわかったことだが以前やはり青山さんは中島さんとこの水族館に来たことがあったのだ。青山さんらしい気遣いで私にははじめてだと言ったらしい。あちこち見て回って少し疲れたので帰ろうとして駅に向かうと、今度はビルの通路でまた先程の猿回しをやっている。青山さんは疲れているはずなのにもう一回見ようとそちらに向かって歩いて行く。一日に何回同じ演技をしているのかわからないが、猿にはかなりの重労働だと思う。上手に演技はしているものの猿の顔は少し疲れているように見えた。3回も見たので私はさすがにあきたが、青山さんは本当に猿回しが気に入った様子で熱心に見ていた。

そのまま電車を乗り換えて、古賀さん宅まで。この日は青山さんも疲れたと思う。

（菊池）

12月30日、自動車で松戸の古賀さんの家まで青山さんを迎えに行きました。ちょっと迷ってしまって少し遅れて到着したところ、いつものように元気な「やあ、やあ！」という声。朝食を食べている最中だったようで、既におよそ一人前は済ませていたようでしたが、さらに私の見ている前でちくわを一皿たいらげていました。

しばらく談笑した後、前日の晩に青山さんが寝た後も遅くまで飲んでいて結局古賀さんの家に泊まってしまい、二日酔い気味で元気のない内田君と一緒に、古賀さん宅を辞し、車で少し出て、ファミリーレストランで昼食。ここでも青山さんは生ビールを飲み、また食欲も旺盛でした。どこへ行くのか？と話。昨日はどこへ行ったの？と聞いたところ、魚がいっぱいいた、というので、水族館かな、と思ったら、その後猿も見た、とのこと。象やパンダはいなかったというので、どうも動物園ではなさそうですが、結局どこへ行ったのかわからず。

青山さんは、内田君に、カラオケかボーリングに行こうよ、と一生懸命誘っていましたが、内田君は元気がなくて気乗りしない上、今日は用事があるから、とお断り。カラオケもボーリングも二人だともう一つかなと思うし（青山さんと二人でボーリングに行ったこともあります）、そのときは二人とも疲れてしまいました。カラオケだと青山さんが歌う曲がわかるかな？というのもあって（前回の時、青山さんは自分が歌う曲のナンバーだけはメモしてきていたが、店が違ってナンバーが違うので選曲が大変だったことがあった）、この次はナンバーじゃなくて曲名をメモしてきてね、と言った上で、カラオケかボーリングは諦めることに。昨日疲れてお風呂も入らなかったというので、温泉でも行こうか、と声をかけましたが、青山さんはあんまり気のない返事。天気がいいから公園でも行こう

が、ということになり、野田の清水公園がいいんじゃない？という内田君の提案で、そちらへ向かうこととしました。別に急ぐ旅ではないので、内田君の自宅まで行って内田君を降ろし、青山さんと二人で清水公園へ。ちょっと風があって寒いながらもいい天気だったのですが、何と清水公園はまさにその日から元旦までの予定でお休み！

中には入れるので、管理人がいなくて事実上無料状態の有料駐車場に車を止め、ガランとして人気のないフィールドアスレチックや釣り堀をぐるりと回り、夏に来たらいいねと青山さんと意見が一致。

せっかく野田へ来たので、ちょっと近くまで行こうか、と話し、県道の方へ。行けばおばあちゃんのお墓の場所がわかる、というので、小学校や中学校を回った後、県道沿いで少し停まって車の中から辺りを見渡したのですが、「たばこ屋がないからわかんなくなっちゃった」と。今日は二人なので車から降りて歩くことはせず、またこの次にね、と話して帰路に着きました。

途中またファミレスで休憩した後、宿泊予定の石橋さんの家へ。道中石橋さんの家の中の様子について青山さんが細かく教えてくれたのですが（中島は行ったことがない）、それはニュースに書くとちょっと問題がありそうなので書きません。

あれだけ食べて、その食べ物はどこへ行ってしまったんだろう？と、太らない青山さんを羨ましく思う一日でした。（中島）

31日（月）昼ごろ石橋宅に青山さんを迎えに行く。青山さんが作ったケーキをごちそうになってから、今評判の「ハリー・ポッター」の映画を観に行くことにした。松

戸の映画館に行ったのだが、早めに着いたにもかかわらずもう満席で立ち見だという。2時間立ち見はつらいので、隣で上映中の「とっこハム太郎」と「ゴジラ」の2本立てを観ることにした。ハム太郎はハムスターのハム太郎のアニメで青山さんは笑いながら楽しそうに観ていたが、ゴジラは怖いのかおもしろくないのか途中で出て行ってしまい、廊下でたばこを吸っていた。

映画館を出るともう外は暗くなっていて、そのまま森さんの家まで青山さんを送って行った。（菊池）

1月1日朝、昨晚宿泊した森医師の自宅まで青山さんを迎えに行きました。青山さんとはお盆以来でしたが、朗らかな様子に全く変わりはありませんでした。森医師手製のお雑煮とおせちは本当においしく、青山さん共どもお腹一杯で森宅を後にしました。せっかくのお正月と思い、初詣をしてから東京駅へ向かいました。新幹線の改札で石橋さんと待ち合わせ、京都までは3人でしたが、私が眠り、起きた頃から石橋さんが眠り、青山さんだけがずっと起きていました。いつも新幹線では眠れないらしく、そのことをちょっと気にしていました。四条畷駅の改札口で、夜一緒に食事をする関西市民の会のメンバーが待っているのので、四条畷まで行く京橋という駅で別れるというと、ちょっと不安そうでしたが京橋駅に着くと、良く知った駅なので率先してホームへ向かいました。1月6日には弁護団・救援会会議に青山さんも行くことになっていたのので、じゃあ6日にね、言い別れました。（西村）